

提言のコンブ残滓の処理は、普代村漁協に相談を。また、肥料など何かに役に立つものということですが、堆肥製造施設で、受け入れ条件が整えばコンブ残滓の持ち込みも可能と考えます。漁協を通じて問い合わせることも一つの方法です。

漁業後継者育成について、県の指導をぜひお願いする。

： A

平成三年に漁業担い手育成基金を設置し、漁業就業者の育成などの事業を行っています。さらに、将来の担い手水産業の理解者育成に各地、海づくり少年団を結成、体験学習、少年海づくり大会など開催しています。

今後とも、漁業の担い手育成に積極的に取り組んでいきます。

一次産業従事者が生きがいを持って働けるよう岩手産品の価格を上げたり都心に向けた宣伝に力を入れ売ってほしい。中国産も三陸産も価格が同じではブランドとは言えない。中間業者、商社があまりにも利幅を多く取り過ぎているので対策を。

： A

県産農林水産物の首都圏に向けた宣伝は、銀河系いわてフェスティバルへの出展などさまざまな機会をとらえて積極的に取り組んでいます。今後、PR

を工夫しながら効果的なPRに努めます。ワカメの価格については、三陸産は中国、他の国産と比較しても価格は高く評価されています。しかし、流通コストの不明な点もあり実態について今後、検証していきます。

その結果を基に、生産者、消費者双方のメリットのある流通の仕組みづくりに関係者とともに努力していきます。

地元のを地元の人に食べてもらえるような直売施設が

交流人口対策を望む

商業・工業・観光関係

交流人口を増やすことで、商業の活性化対策を。

： A

本年度「不思議の国の北リアスまるごとキャンペーン」事業で、広域観光モデルルートを設定し、首都圏、八戸圏域の物産観光フェアの実施、三陸鉄道の駅表示板を利用した観光PRなど事業を展開していきます。

一年一か所だけでも集中的にスポットをあて、村を大きく取り上げることはできないか。

： B

地方振興局や関係部局と連携を取りながら、今後とも地域の歴史や文化、観光資源などを生

代村にもあれば観光にもつながるので、指導を。

： A

県産農林水産物を県内で消費しようという「地産地消（ちさんちしょう）」を六月から県民運動としてスタートしました。

直売所は、地産地消の推進に大きな役割を果たします。県では、直売所を開設する団体などに施設整備にかかる経費の助成や運営方法の研修会など開催し、振興を図って行きます。

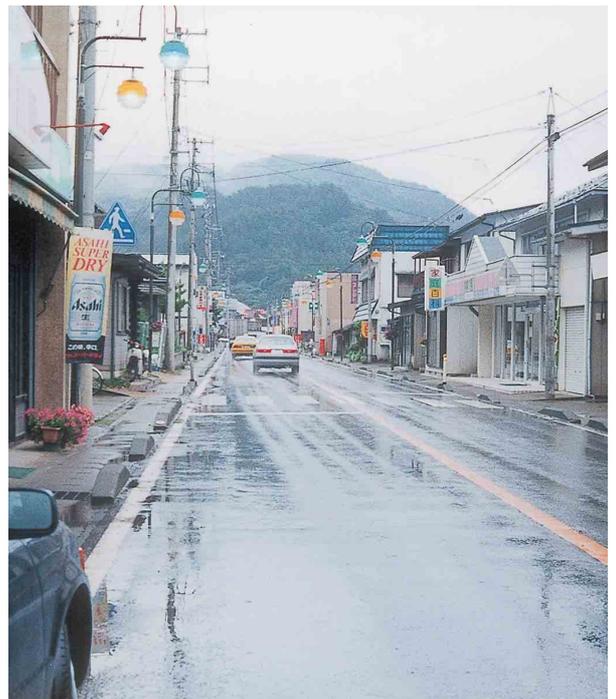
かした魅力あるまちづくりのため各種事業を支援していきます。普代駅周辺に、滞在型宿泊施設の建設支援を。

： C

本年度から三陸地区を中心に「三陸夢紀行創造事業実行委員会（三陸エリアの海や山の参加体験型の旅を提案する事業）」を立ち上げました。

三陸エリアがお互いの不足を補いながら、一体となって観光誘致に取り組む必要があります。

そのためには、宿泊施設と観光資源との二次交通アクセス整備が重要ですので、今後これらの事業を通じて改善に取り組む、さらに三陸観光の魅力発信



閑散とする商店街

に努めます。

観光船を運航してほしい。

： C

他の市町村からも要望されていますが、現状では定期運航は

高校再編の詳細求む

教育・青少年関係

大阪の池田小学校児童殺傷事件に関連して、県内小、中学校の安全対策は。

： A

安全管理について、緊急再点検を完了しました。

県教委でも緊急時対応については、県PTA連合会や県警察本部に協力を要請。また、児童生徒の「心のケア」を適切に実施するため、県医師会と県臨床

実施できない状況にあります。

県では、現在、「三陸夢紀行」創造事業や魚菜王国を通じて、三陸の魅力を最大限に紹介できるように方策を考えています。

心理士会に協力をお願いしました。今後とも、子どもたちの安全確保には万全を期すよう指導していきます。

進路を決める大事な時期なのだが、平成十六年度の高校再編について、詳細が示されていないが見解を。

： A

平成十二年に「県立高等学校新整備計画」を策定しました。平成十六年度に久慈農林・久慈商業・久慈水産の三校を統合